

卓越大学院プログラム現地視察報告書(令和2年度)

卓越大学院プログラム委員会

| | | | |
|--|----------------------|---------------|---------|
| 機 関 名 | 京都大学 | 整 理 番 号 | 1 9 1 0 |
| プログラム名 称 | メディカルイノベーション大学院プログラム | | |
| プログラム責任者 | 岩井 一宏 | プログラムコーディネーター | 渡邊 大 |
| <p>1. 進捗状況概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラム担当者 102 名、若手メンター教員 200 名以上の協力を得て運営される本プログラムは、令和 2 年度に当初の計画の 20 名を大幅に上回る 35 名の学生を受け入れている。 ・メンター制度が設けられ、学生をサポートする制度を構築するとともに、本制度によりメンター教員自身の研究への波及効果を期待している。 ・大学院横断教育プログラム推進センターの下で、京都大学で採択された他の卓越大学院プログラムや学内のセンター等、他分野・他領域との連携を図り始めている。 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により海外への学生派遣、インターンシップや共同研究などの取組に影響が出ている。一方、講義が概ねオンライン化されることになったが、メンターによる対面の面談は一部実施されている。また、履修生の意見も参考にしながらオンデマンド教育システムが立ち上げられている。 <p style="text-align: center;">【大学院教育全体の改革への取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学院横断型教育プログラムを制度化し、大学院共通科目の開講、国際共同学位の推進、現地運営型研究室の設置等に取り組んでおり、今後本プログラムを先行モデルとした具体的な展開を期待したい。 <p>2. 意見（改善を要する点、実施した助言等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養成される卓越した人材像の具体性に欠け、本プログラムを履修している大学院生にその目指すところ等が浸透していないように思われる。例えば、学生の本プログラムへの参加の動機はあくまでも専門性や基礎研究力の強化のためとの声もあり、「メディカルイノベーション大学院プログラム」が目指す人材像が十分に認識されていないように思われる。カリキュラムや参加する教員等への研修を充実させ、学生に対して本プログラムが目標とする人材ビジョンを説明することやプログラム参加に対する動機付けを工夫していただきたい。 ・現状では、メンターと十分にコミュニケーションが取れている学生がいる一方、メンターがどのように決まったか分からない学生や全く会っていない学生もいることから、メンター制度が制度としては構築されているものの、十分に機能しているとは言いがたい。メンター制度への対応が指導教員や所属研究室によって差があると思われ、メンター制度に対するプログラムとしての指針やガイドライン等を指導教員に対して周知徹底すべきであると思われる。本プログラムにおいてメンター制度を実のあるものとすることは重要であり、指導教員の意識改革も含めた働きかけが早急に必要であると思われる。 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、双方向性の教育や対面での研究指導等に支障をきたしている。その対応について、学生の声も収集した上で、学内資源を最大限活用して検討を行うなど、組織的に対応・工夫することが求められる。 ・学生からの要望、問題提起や提案などを体系的に受ける仕組みを構築し、カリキュラムやプログラム全体のブラッシュアップにつなげていただきたい。特にコロナ禍 | | | |

におけるオンライン授業については、授業の最後に無作為に学生のグループ分けを行いディスカッションさせる等、教員が各々に工夫を凝らした授業を実施している例もあった。学生の要望に加え、教員個人の工夫も優れた教育の好事例につながる可能性が高いと思われるため、このような取組等を取り入れていく体制の検討が期待される。

- 英語のプレゼンテーションスキルの向上については今後重要な課題と認識している学生もおり、プレゼンテーションの方法も含めた実践的な英語の学習を希望する声があった。また、学生からはカリキュラムの授業以外でも、幅広い分野を学べる機会があると良いとの要望があったため、引き続き補助教材を活用する等の検討が望まれる。
- 経済的な支援については、特に博士課程前期の学生の間で認識の差があるように思われる。大学としての制度及びプログラムとしての制度（制限や支援範囲を含む）を整理した上で事前説明を徹底するよう努めていただきたい。